



作創父

『闇があつたら遊びに來い』
私がもう少し年若か、或はその女が居なかつたら私はわつと聲を上げて見得もなく泣き出したかも知れないでゐる私を促すのだから。私はそれ程父の側を離れていた。

（八）森徹

『闇があつたら遊びに來い』
下さい、別れた以上もう他片時も父の事は頭を離れないで来て私のまくら元に座ると、熟した私の顔に手づけた。私が太事な子かつた、日が経つにつれて座ると、其の後私は母の里に寄り、その母がちよつと席を立つてそのままお母さん！あなたは知らない。お母さん！あなたは知らない。

『闇があつたら遊びに來い』
私がもう少し年若か、或はその女が居なかつたら私はわつと聲を上げて見得もなく泣き出したかも知れないでゐる私を促すのだから。私はそれ程父の側を離れていた。

『闇があつたら遊びに來い』
私がもう少し年若か、或はその女が居なかつたら私はわつと聲を上げて見得もなく泣き出したかも知れないでゐる私を促すのだから。私はそれ程父の側を離れていた。

『闇があつたら遊びに來い』
私がもう少し年若か、或はその女が居なかつたら私はわつと聲を上げて見得もなく泣き出したかも知れないでゐる私を促すのだから。私はそれ程父の側を離れていた。

『闇があつたら遊びに來い』
私がもう少し年若か、或はその女が居なかつたら私はわつと聲を上げて見得もなく泣き出したかも知れないでゐる私を促すのだから。私はそれ程父の側を離れていた。

八幡祭禮・星亭・カラクリ

大 湛 生

か？
母よりもらつた最後の一錢を握つてカラクリを見やうと、それを神に捧げやうとして仕舞つた。

はふとカラクリ師の名調子に約られ、とう／＼入つて仕舞つた。

三年、芝山内の縁日を散歩して、何どしても忘れることが出来ないであります。

明治卅四年六月廿一日、縣社八幡神社何百年祭かの紀念大祭が執行されるので平成を中心として遠近の郷人が群れ集つて來た。自分は當時紅顔の少年、惡童數名と共に手を握え當時電燈の設備もなかつた暗がりのエントッコ坂を軍歌勇ましく登つて行つた。ところが小学校前まで來る號外！號外！と鉛音高く昂慢して怒鳴りながら飛んで来る。

素破、何ごとぞ？
と、當時から物好きであつた少年の自分は、大枚金貯金也（當時の金貯金は大枚金貯金也）を悲壯の決意をして一枚の號外を買つた。今から世有五年前の新聞號外の事であるから、その全文は記憶にないが、いづれにしても所謂初號活字で星草殺せらる。

刺客は壯士
伊庭想太郎
刺殺原因刺、容伊庭想太郎は星亨の國政上、東京市政上の積重の罪悪を公憤したるため!!

何かどこかセンセーション的な血火の文字を列ねてあ

る。私はそれを程父の側を離れていた。

八幡祭禮・星亭・カラクリ

と並べると、何んだか三題

話の様な次第であります

本文の筆者には、此の三題

の關係が心に深く銘刻され

て、何どしても忘れることが出来ないであります。

どうして？

明治卅四年六月廿一日、縣社八幡神社何百年祭かの紀念大祭が執行されるので平成を中心として遠近の郷人が群れ集つて來た。自分は當時紅顔の少年、惡童數名と共に手を握え當時電燈の設備もなかつた暗がりのエントッコ坂を軍歌勇ましく登つて行つた。ところが小学校前まで來る號外！號外！と鉛音高く昂慢して怒鳴りながら飛んで来る。

素破、何ごとぞ？

と、當時から物好きであつた少年の自分は、大枚金貯金也（當時の金貯金は大枚金貯金也）を悲壯の決意をして一枚の號外を買つた。今から世有五年前の新聞號外の事であるから、その全文は記憶にないが、いづれに

としても、思ひ出さ

ります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ

これまで三度目の交代です

あります。

私は、それでも朗らかに祭禮の人込み中をリス

の様に潜り歩いて、散り

（バラン）。自分は木

刀を一本買つて、ブラン下

げ口一杯何か頗りなが

ら「チヨイと、みなさん

御覽に入れるのは、日清

戦争、武勇談」

と掛け声の調子面白いカラクリの前に立つて居た。

何と明治の少年は呑氣でズボラで駄々子ではない

け辛やくカラクリの前を

で同じものを三度見てゐた

「坊っちゃん！交代ですよ